

県政日誌

(12/22 ~ 1/18)

- 12/22 第3回予算連絡会議(東京)
- 12/23 天皇誕生日宴会の議(東京)
- 12/24 表敬 NTT西日本沖縄支店長 田中篤夫氏
- 12/26 表敬 第42次本土豆記者
- " 仕事納め
- 1/5 仕事始め
- 1/6 平成16年消防出初め式
- 1/9 表敬 日系社会青年ボランティア出発隊員 仲本聖子氏、麻生直衛氏
- 1/13 表敬 日立製作所代表取締役副社長 熊谷一雄氏
- " 参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会来県
- 1/14 表敬 ボツワナ共和国全権大使
- 1/15 表敬 米上院軍事委員会専門官
- 1/16 津堅ニンジンの贈呈
- " 知事トップセールス事前試食会
- 1/18 国立劇場おきなわ開場記念式典及び祝賀会

1月13日 参議院沖縄及び北方問題特別委員会が来県



参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会の委員6人が、1月13日、来県した。稲嶺知事は、基地の整理縮小や日米地位協定の改定などの必要性を強調し、支援を求めた。また、雇用対策と企業立地の推進、大学院大学の設置推進、基地問題の解決促進など11項目の要望書を委員会に提出した。

その後委員会は、大学院大学の建設予定地や国立劇場おきなわ、宮古島での台風14号による被害状況などを視察した。

1月15日 表敬 米上院 軍事委員会専門官



米上院軍事委員会のエバリン・ファークス専門官が、海外の米軍基地視察の一環で沖縄を訪れ、1月15日に稲嶺知事と会談した。稲嶺知事は、「沖縄の実情を説明する機会を与えていただければ大変うれしい」とし、今年1月に米国議会に設置される見通しの「合衆国海外軍事施設の構成見直しに関する委員会」の公聴会への出席を要望した。

専門官は稲嶺知事の意見を聞くことは適切とし、持ち帰って「知事が出席したいという要望を伝えたい」と述べた。

1月18日 国立劇場おきなわ開場記念式典



浦添市にある国立劇場おきなわの開場記念式典が1月18日に開催され、河合文化庁長官、茂木沖縄担当大臣や稲嶺知事等、県内外から多数の関係者が開場を祝った。式典に続き舞踊「老人老女」「四つ竹」、組踊「執心鐘入」が上演され、華やかなムードを盛り上げた。

国立劇場おきなわは、国立劇場としては6館目。組踊、琉球舞踊、琉球音楽等の公演、後継者の育成、沖縄伝統芸能に関する資料収集・調査研究、アジア太平洋地域との交流事業など、沖縄における伝統芸能の中核としての役割が期待されている。

3月21日までこけら落とし公演が行われており、劇場側は広く県民の来場を呼びかけている。

沖縄県の人口・世帯の動き
平成15年12月1日現在推計

- 人口 134万9,596人
前月比1,183人増
- 世帯 47万8,119世帯
前月比902世帯増



12月26日 表敬 第42次本土豆記者団



北海道と長野県の小中学生31名による、第42次豆記者団が、12月26日県庁を訪れ、稲嶺知事、山内教育長らから暖かい歓迎を受けた。

豆記者交換制度は、本土復帰前の昭和37年、沖縄の早期本土復帰の願いから、子どもたちを豆記者として本土と沖縄で相互交換したのがはじまり。

県庁表敬後、本土豆記者達は、沖縄本島、宮古島、石垣島、与那国島へと散り、沖縄のくらしや自然などについてじっくり学んだ。